



## 小6・中2による合同体育

GW明けの5月8日(月)の5、6時間目に、浅江小の6年生が浅江中学校を訪れ、中学2年生とともに合同体育を行いました。これは、浅江小と浅江中があさなえ学園として施設分離型小中一貫教育を進めている中での具体的な取組のひとつです。

この取組は、日頃小学校でリーダーとして活動している小学6年生と、日頃中学校でフォロワーとして活動している中学2年生の立場をあえて転換(=立場の転換)することで、子どもたちに新たな学びの場を提供するものです。あさなえ学園では、このような取組を進めることで、「区切りの併用と立場の転換による小中一貫カリキュラムの創造」を進めています。

### 【この取組の小学生の目的】

- 中学校の集団考動を体験することを通して、集団考動の意義を学び、行動様式を身につける。
- 身につけた行動様式を運動会練習などで全校児童に示すことで、リーダー性を発揮し、集団力の向上を図る機会とする。

### 【この取組の中学生の目的】

- 事前学習を通して、どのように工夫したら、小学生に集団考動の意義や行動様式を教えられるかを学ぶことを通して、気付き・考え・行動できる力を身につける。
- 小学生に集団考動を教えることを通して、リーダー性を発揮し、中学生としての自覚と責任を再認識する。



この授業を担当した橋本先生より



「気づき・考え・行動できる」子どもたちを育成することを目指して、中学2年生と小学6年生を対象とした集団行動の合同体育を行いました。

この授業は小中連携担当が中心となって昨年度企画したもので、「今年もぜひ中学生から集団行動を学びたい」と小学校から要望があり実施することになりました。中学生の役割は、中学校の集団行動様式の全てを小学生に教えることです。しっかり指導できるか少し不安でしたが、先輩となった2年生はさすがでした。リーダーシップを発揮し、堂々と指導する姿に感心させられました。生徒の振り返りには、「どうすればうまく伝わるか考えて教えることができた」「お互いに楽しみながら活動するために褒めることを大切にしたい」などの、教える立場ならではの気づきが多くありました。